

図画工作科学習指導略案

1年3組 26名 指導者 林 智美

本授業では、以下の検証を行うものである。

作品例から、工夫していることを見付けたり、それらを関連付けたりして話し合うことは、自分がかきたいことの工夫を考えようとするための手立てとして有効であったか。

1 題材 せんせい あのね（絵に表す）

2 指導計画（総時数7時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
思いをもつ	1 題材と出会い、本題材の活動について思いをもつ。 2 学習のめあてをとらえる。 楽しかったことや好きなことなど、お話ししたいことを、楽しく絵に表す。 3 活動の流れを確認する。	1 (本時)
ふくらませる	4 作品例を見て、気付いたことを発表したり、見付けた工夫を仲間分けしたりして、作者が話したかったことを話し合う。 5 自分の日々の生活の中から絵に表して話したいことを思い浮かべる。 【関：工夫して絵に表して話したいことを見付けようとしている。】	
自他のよさに気付く	6 クレヨンやパスなどを使い、自分が絵に表したいことを中心に形や大きさ、位置、色などを考えながら絵に表す。 【想：経験したことや思ったことなど、絵に表して話したいことを考えている。】 【技：かくものの形や色を工夫して絵に表している。】 7 表現の途中で互いの作品を見せ合いながら製作を行い、自分の表現に生かす。 見つけた 8 絵に表しながらイメージを広げて、かき加えたいことや思い付いたことを、絵の具等も使いながら、工夫して絵に表す。 【技：感じた印象や思いが伝わるように、表し方をいろいろ工夫している。】	5
も思新しいな	9 ぐるぐる展覧会でみんなの作品を見て回り、互いの工夫やよさを話し合う。 ギャラリーウォーク 【鑑：自分や友達の絵を見合いながら、表したかったことを話し合っている。】	1

図画工作

3 本時（1／7）

(1) 目標

楽しかったことや好きなことなど、絵に表したいことを見付けることができるようにする。

(2) 評価規準

○ 工夫して絵に表して話したいことを見付けようとしている。

【造形への関心・意欲・態度】

○ 経験したことや思ったことなど、絵に表して話したいことを考えている。

【発想や構想の能力】

○ 友達の絵を見ながら、表したかったことや表し方の工夫を見付けている。 【鑑賞の能力】

(3) 指導に当たって

本題材では、楽しかったことや好きなことなど、人に話したいことを、クレヨンやパス、絵の具などを使い、自分が絵に表したいことを中心に、形や大きさ、位置、色などを考えながら絵に表す学習である。

そこで、「思いをもつ」過程では、友達かおうちの人に話したいことを工夫して絵に表したいという意欲をもてるような題材との出会わせ方を工夫する。

「思いをふくらませる」過程では、作品例から、作者がどのようなことを話したかったのか、「見える図」を用いて話し合い、思いをふくらませることができるようになる。

「思いを表現する／自他のよさに気付く」過程では、自分が一番絵に表したいことを決め、ワークシートにかいて紹介する。

「新たな思いをもつ」過程では、工夫して表すことの面白さや、自分や友達のよさを知り、次時の活動への意欲をもつことができるようにする。

(4) 本時の展開

□ 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
思いをもつ	7	1 本題材の題材名ボードと出会い、自分の絵に表したいことを思い浮かべる。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ お話したいことを絵に表すって面白そうだな。 ・ ○○についてお話したいな。 ・ できあがったら、おうちの人に見せたいな。) 2 本時のめあてや流れを確認する。 □ おはなししたいことは、なあに。おしえてね。	○ 話したいことを絵に表して伝えたいという思いをもつことができるように、題材名ボードとの出会いを工夫したり、作品を見せる相手を意識したりできるようにする。 ○ 本題材の見通しをもつことができるように題材の流れを掲示する。
思いをふくらます 思いを表現する／自他のよさに気付く	30	4 作品例を見て、作者がどんなことを話したかったか、どうしてそのように思ったかみんなで話し合う。 □ 関連付ける (<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○が、強くてカッコいいところを教えたかったのかな。 ・ とがった牙があるから強そうに見えるよ。 ・ 足も太くて、どっしりしているから強そうだね。) 4 自分がしたことや見たことから、絵に表して話したいことを、好きな用紙を選んで描く。 5 「見付けたいム」で友達のよさを見付ける。 6 見付けたよさを紹介し合う。	○ 作品例から、作者がどんなことを話したいと思って絵に表したか読み取るように言葉掛けや板書資料を準備する。 ○ 作者の話したかったことと、表すための工夫を関連付けて「見える図」に表すことで、工夫するともっと分かりやすくなることに気付くことができるようにする。 ※ 工夫して絵に表して話したいことを見付けようとしている。 (ワークシート・活動) ○ 積極的に見付けている子どもには、形、色、イメージの工夫にも気付けるように言葉掛けをする。 ○ 活動が停滞している子には、一緒に調べたり、見るヒントを伝えたりするなど、言葉掛けを工夫する。 ○ いろいろな工夫ができることを知ることができるように「見付けたいム」を設定する。
新たな思いをもつ	8	7 本時の学習を振り返る。 □ 形や大きさ、色を工夫すると、お話したいことが分かるよ。 8 工夫して表すことの面白さや、自分、友達の良いところを知り、次時の活動への意欲をもつ。	○ 振り返りの視点カードを使って、本時の活動や気付いたことなどを振り返り、友達や自分のよさを感じられるようにする。 ○ 次は、自分で用紙を選んでかくことを伝え、次時の活動への意欲をもつことができるようにする。

図画工作